

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・ p.1
(1) 学生の確保の見通し	・・・ p.1
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・ p.3
2. 看護学専攻修士課程の人材需要の動向等社会の要請	・・・ p.4
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・ p.4
(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を 踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・ p.4

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

①定員充足の見込み

清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程では、看護系大学院における人材養成の方向性及び実際の病院をはじめとする医療機関などを対象とした看護系大学院の必要性や人材需要に関する調査結果を踏まえたうえで、長野県及び近隣における看護系大学院の設置状況及び設置圏域の医療機関等（本学看護学部の隣地実習先等 16 先）に勤務する看護職者や本学の看護学部看護学科の在学生に対する進学需要調査結果などを総合的に勘案して、入学定員を 8 名としていることから、十分な定員充足を見込むことができると考えている。

②有職者の通学に至便な立地

看護学研究科看護学専攻修士課程を設置する J R 長野駅東口校地（長野県長野市大字栗田）は、長野県の県庁所在地・長野市の中心駅で、県内最大規模のターミナル駅である長野駅の東口から徒歩約 1 分のところに位置している。

長野駅は、東日本旅客鉄道・しなの鉄道・長野電鉄など複数の路線が通じており、隣接する上田市、佐久市、新潟県上越市をはじめ広域からのアクセスが可能であることから、特に、医療機関等に勤務する看護職者の通学に至便な立地となっており、立地の面からも定員充足を見込むことができると考えている。（資料 1 長野県内路線図）

③定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 長野県内の看護系大学及び大学院の設置状況

長野県内の看護系大学は、令和 2 年 3 月現在、国立大学は、信州大学医学部保健学科看護学専攻（入学定員 7 0 人）、公立大学は、長野県看護大学看護学部看護学科（入学定員 8 0 人）、私立大学は、清泉女学院大学看護学部看護学科（入学定員 7 6 人）、佐久大学看護学部看護学科（入学定員 9 0 人）、長野保健医療大学看護学部看護学科（入学定員 8 0 人）の 5 大学で、入学定員の合計は 3 9 6 人となっている。

そのうち大学院としての教育組織を有しているのは、長野県中信地方の松本市に位置する信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（入学定員 1 4 人）、長野県南部の駒ヶ根市に位置する長野県看護大学大学院看護学研究科看護学専攻（入学定員 1 6 人）、長野県中部の佐久市に位置する佐久大学大学院看護学研究科看護学専攻（入学生定員 5 人）で、看護学分野における高度な学習需要への対応が求められている中で、長野県の県庁所在地であり、県内最大の都市である長野市を中心とする長野県北部には、看護系大学院は設置されていない状況にある。長野県北部に隣接する新潟県上越市には、新潟県立看護大学大学院看護学研究科が所在し、一番近い大学院となる。（資料 2 長野県及び近隣における大学院設置分布図）

長野県及び近隣の看護系大学院（佐久大学大学院、新潟県立看護大学大学院）における最近の修士課程の入学定員充足率については、平成30年度は平均96.0%、令和元年度は平均88.0%となっており、ほぼ定員を満たす状況となっている。（資料3 近隣大学院入学定員充足率）

2) 受験対象者に対する進学需要調査結果

看護学研究科看護学専攻修士課程の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、長野県内の医療機関等に勤務する看護職者等及び本学の看護学部看護学科の在学生（1年生）を対象として、看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材及び受験意向や進学意向等に関するアンケート調査を実施した。

その結果、長野県内の医療機関等に勤務する看護職者等においては、修士の学位の取得について、有効回答者数206人の約10.1%にあたる21人が「修士の学位の取得を考えている」と回答しており、有効回答者数206人の約15.5%にあたる32人が「将来修士の学位の取得を考えている」と回答しているとともに、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）において養成する人材については、有効回答者数206人の約66.9%にあたる138人が「魅力を感じる」と回答している。

また、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合の受験希望については、有効回答者数206人の約3.8%にあたる8人が「2020年度に受験を希望する」と回答しており、有効回答者数206人の約4.8%にあたる10人が「2021年度に受験を考える」とともに、有効回答者数206人の16.0%にあたる33人が「2022年度以降に受験を考える」と回答している。

さらに、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望については、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者は38人、「併願先の結果によって進学を希望する」と回答した者は23人となっている。

このうち、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の「受験を希望する」「受験を考える」と回答した者のうち、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合、「2020年度に進学を希望する」と回答した者は8人、「2021年度に進学を希望する」と回答した者は9人、「2020年度以降進学を希望する」と回答した者は15人となっている。

一方、本学の看護学部看護学科の在学生（1年生）においては、修士の学位の取得について、有効回答者数47人の約2.1%にあたる1人が「修士の学位の取得を考えている」と回答しており、有効回答者数47人の約34.0%にあたる16人が「将来修士の学位の取得を考えている」と回答しているとともに、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材については、有効回答者数47人の約72.3%にあたる34人が「魅力を感じる」と回答している。

また、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合の受験希望については、有効回答者数47人の約2.1%にあたる1人が「受験を希望する」と回答しており、有効回答者数47人の約10.6%にあたる5人が「将来受験を考える（1～2年後）」と回答しているとともに、有効回答者数47人の約31.9%にあたる15人が「将来受験を考える（3～4年後）」と回答している。

さらに、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望については、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者は11人、「併願先の結果によって進学を希望する」と回答した者は10人となっている。

清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の「受験を希望する」、「受験を考える」と回答した者のうち、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者1人、「将来受験を考える（1～2年後）」と回答した者のうち、合格した場合、「進学を希望する」と回答した者2人、「将来受験を考える（3～4年後）」と回答した者のうち、合格した場合、「進学を希望する」と回答した者7人となっている。

このような、長野県内の医療機関等に勤務する看護職者等及び本学の看護学部看護学科の在学生（1年生）に限定した調査結果においても、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。（資料4 進学需要等に関するアンケート調査結果報告書）

④学生納付金の設定の考え方

清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程における学生納付金については、大学及び大学院の運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、長野県内において看護系大学院を設置している私立大学の学生納付金の設定状況を参考にしたうえで、完成年度における教育研究経費比率や経営経費依存率を見極めつつ、大学及び大学院の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額（入学金20万円、授業料70万円、施設設備費20万円）としている。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学院案内や専攻の概要（研究テーマ等）をまとめた入試要項を作成し、本学在学生及び入学希望者に配布するとともにホームページに掲載し、資料請求者へ郵送する。

看護学研究科看護学専攻修士課程の教員は、学部教員が兼務することから、在学生に対して研究テーマを周知し、興味を持つよう取組むとともに、また、看護学分野のセミナー・学会等において、教員による広報活動を随時行い、これまでの臨地実習の受入れ実績のある医療機関

等に対しても積極的な情報提供を行うこととしている。

さらに学部対象に実施しているオープンキャンパスや大学見学会においても進学希望者に対して、看護学研究科看護学専攻修士課程における学位授与の方針・教育課程編成の方針・入学者受入の方針をはじめとする様々な教育・研究情報について、広報することとしている。

2. 看護学専攻修士課程の人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

①教育研究上の目的

看護学研究科看護学専攻修士課程では、「看護学分野」を研究対象とする中心的な学問分野として、看護学分野に関する深い学識の涵養を図り、幅広い医療関連分野において指導的立場で活躍できる人材の養成を目指して、看護学分野に関する高度な専門的知や能力及び実際にそれらを応用する能力を培うとともに、問題や課題の解決にむけた柔軟な思考力や深い洞察力を養うための体系的かつ組織的な教育活動を行うこととしている。

②養成する人材

看護学研究科看護学専攻修士課程では、学部段階における看護教育に裏打ちされた専門的素養の上に立ち、看護の専門性の一層の向上を図るための深い知的学識と研究能力を備えて、将来、指導的立場で活躍できる看護職者として、看護の質の向上や改善に貢献できる人材を養成する。

具体的には、看護学分野に関する幅広く深い学識を基礎として、それらを実務に応用する能力及び看護学研究に関する手法や能力を身に付けて、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者を養成する。

③学位授与の方針

看護学研究科看護学専攻修士課程では、学位を授与するに当たり修得しておくべき能力を含めた学位授与の方針を次のとおり定める。

- 1) 看護活動の基盤となる関連領域に関する幅広い知識を修得している。
- 2) 質の高い看護活動を実践するための豊かな知的学識を修得している。
- 3) 自ら課題を設定し調査・研究活動を実践できる能力を修得している。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①大学院教育の方向性

現代社会においては、社会環境の急速な変化や学術研究の著しい進展に伴い、社会的な要請や進学需要を踏まえた専門分野における教育研究の方向性を見極めるとともに、学部教育との継続性と専門性に十分配慮した大学院教育の研究体制の整備や教育研究内容の充実が求められている。

特に、今日的諸課題の高度化傾向から、学部4年間の専門教育では高度の専門的な職業を担うための能力を教授するには十分ではないとの考えから、大学院教育の必要性の認識とともに、基礎、基本を重視する学部教育は、高度な専門の応用、総合化を目指して、大学院教育との連携が重要とされている。

一方、我が国の医療系大学院を取り巻く状況は大きく変化しており、特に、医療技術等の高度化・多様化に伴い、優れた研究能力等を備えた医療系人材の養成機能が強化されているとともに、医療系大学院には、生涯にわたる医療人のキャリア形成の中核的な役割を果たすことが求められている。

また、「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」による最終報告では、「看護系大学院における人材養成においては、看護学の学術研究を通じて社会に貢献できる研究者や教育者、学士課程では養成困難な特定領域の高度専門職業人や、保健、医療、福祉等に携わる専門職の協働においてマネジメント能力を発揮できる人材の養成を目指す」ことが掲げられている。(資料5 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告(抜粋))

②地方公共団体等からの要請

長野県では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、患者の状態に応じた質の高い医療を効果的に提供できる体制の構築とともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、地域に必要とされる医療サービスの維持・充実に向けた取り組みがなされており、質の高い看護ケアを提供するための深い知的学識と研究能力を有して、保健・医療・福祉分野において指導的立場でサービスを牽引できる人材を養成することは、地域医療の推進に大きく寄与するものとして、看護学研究科看護学専攻修士課程の早期設置が期待されており、同様の趣旨で長野市からは設置に対する要望がなされている。そもそも、本学看護学部の設置の時点から大学院設置構想を表明し、地域への貢献を目指しており、長野県、長野市による財政支援は大学院設置に対する期待も表明しているものである。(資料6 大学院の設置等に係る長野市からの賛同の書面)

また、長野県看護協会では、保健・医療・福祉の現状や課題を踏まえ、長野県看護協会の目指す方向性として、「長野県看護協会将来ビジョン」を公表し、「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」、「人々の生涯にわたり、生活と保健・医療・福祉をつなぐ看護」を目指して取り組んでおり、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者を養成することは、地域の医療・保健・福祉政策への貢献が期待されることから、看護学研究科看護学専攻修士課程の早期新設に向けた要望がなされている。(資料7 長野県看護協会要望書)

③医療現場等からの要請

看護学研究科看護学専攻修士課程の設置計画を進めるうえで、看護学研究科看護学専攻修士課程の設置及び養成する人材が地域的な需要の動向等を踏まえたものであることについて検証するために、基礎となる看護学部の実習生の受入先の医療機関等を対象とし

て、看護学研究科看護学専攻修士課程における養成する人材や設置の必要性及び修了生に対する採用意向等に関するアンケート調査を実施した。

その結果、将来、指導的立場で活躍できる看護職者の養成を目的とする大学院の教育については、有効回答件数11件の100.0%にあたる11件が「必要性を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の設置については、有効回答件数11件の約90.9%にあたる10件が「必要性を感じる」と回答している。

また、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材については、有効回答件数11件の約90.9%にあたる10件が「必要性を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の修了生の採用については、有効回答件数11件の100.0%にあたる11件が「採用したい」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生の採用に積極的な意向を示している。

このような基礎となる看護学部の実習生の受入先の医療機関等を対象とする医療機関等に限定した調査結果においても、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生への採用意向の高さがうかがえることから、修了後の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。(資料4 進学需要に関するアンケート調査結果)

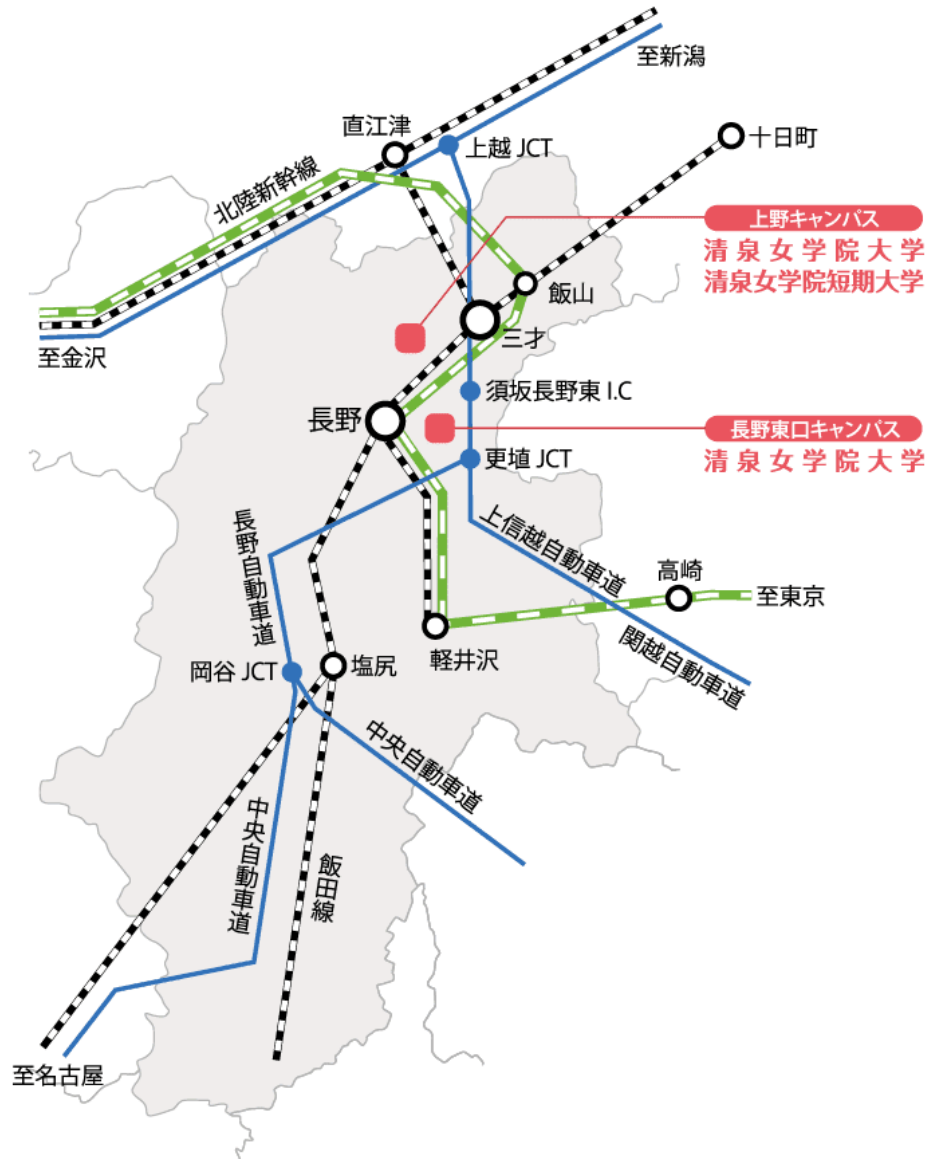
進学需要アンケート調査を実施した隣地実習先医療機関等における看護職者の年度ごとの進学希望と、看護職者が所属する医療機関等の人材需要が合致しており、その進学希望者数と採用希望数も本大学院の定員を充足するものである。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 資料 1 長野県内路線図
- 資料 2 長野県及び近隣における大学院設置分布図
- 資料 3 近隣大学院入学定員充足率
- 資料 4 進学需要に関するアンケート調査結果
- 資料 5 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告（抜粋）
- 資料 6 大学院の設置等に係る長野市からの賛同の書面
- 資料 7 長野県看護協会要望書

長野県内路線図（アクセスマップ）



長野県及び近隣における看護系大学院設置分布図



	名称	所在地	博士前期（修士） 課程 学年定員
①	信州大学大学院 医学系研究科保健学専攻看護学分野	松本市旭3-1-1	14名 (保健学専攻全体)
②	長野県看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻	駒ヶ根市赤穂1694	16名
③	佐久大学大学院 看護学研究科	佐久市岩村田2384	10名
④	新潟県立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻	新潟県上越市新南町240	15名

近隣看護系大学大学院 入学定員充足率

区分	名称	入学定員	入学生数		
			2019年度 (令和元年)	2018年度 (平成30年)	2017年度 (平成29年)
私立	佐久大学大学院 看護学研究科	10名	7名	9名	4名
県立	新潟県立看護大学 大学院看護研究科	15名	15名	15名	11名
合計		25名	22名 (88.0%)	24名 (96.0%)	15名 (60.0%)

清泉女学院大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程 (仮称)
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書

令和2年1月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

【在学生】

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
調査対象者に関する質問事項	
卒業後の進路	2
修士の学位の取得	3
清泉女学院大学大学院に関する質問事項	
看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材	4
看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望	5
看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望	6

II. 進学需要調査（集計結果）

【有職者】

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
調査対象者に関する質問事項	
勤務先	8
修士の学位の取得	9
清泉女学院大学大学院に関する質問事項	
看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材	10
看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望	11
看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望	12

III. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	13
調査結果概要	14～18
人材需要全般に関する質問事項	
職種	14
大学院教育の必要性	15
清泉女学院大学大学院に関する質問事項	
看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の必要性	16
看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材の必要性	17
看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生の採用	18

IV. 参考資料

進学需要調査関係

設置計画の概要

アンケート調査票／在学生・有職者

アンケート依頼先一覧／医療機関等

人材需要調査関係

アンケート調査票／医療機関等

アンケート依頼先一覧

1. 進学需要調査（集計結果）

【在学生】

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

清泉女学院大学では、令和3年4月の開設に向けて清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を計画しており、この看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、清泉女学院大学の看護学部の在學生（1年生）を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

清泉女学院大学の看護学部の在學生／1年生

②調査方法

看護学部の在學生への直接配布、直接回収

③調査実施

令和元年12月

④調査件数

回答者数：47人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<調査対象者に関する質問事項>

1. 卒業後の進路

清泉女学院大学の看護学部の在学生に対して、卒業後の進路について質問したところ、回答者数 47 人の約 72.34%にあたる 34 人が「医療機関等への就職を希望」、回答者数 47 人の約 10.64%にあたる 5 人が「大学院等への進学を希望」と回答している。

問 1 卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	医療機関等への就職を希望	34	72.34
2	大学院等への進学を希望	5	10.64
3	その他	8	17.02
	未回答・不明	0	0.00
	合計	47	100.00

<調査対象者に関する質問事項>

2. 修士の学位の取得

清泉女学院大学の看護学部の在学生に対して、修士の学位の取得について質問したところ、回答者数 47 人の約 2.13%にあたる 1 人が「修士の学位の取得を考えている」と回答しており、回答者数 47 人の約 34.04%にあたる 16 人が「将来修士の学位の取得を考えている」と回答している。

問 2 修士の学位の取得

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	修士の学位の取得を考えている	1	2.13
2	将来修士の学位の取得を考えている	16	34.04
3	修士の学位の取得は考えていない	30	63.83
	未回答・不明	0	0.00
	合計	47	100.00

<清泉女学院大学大学院に関する質問事項>

3. 看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材

清泉女学院大学の看護学部の在学生に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材について質問したところ、回答者数 47 人の約 72.34%にあたる 34 人が「魅力を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材に対する魅力の高さをうかがうことができる。

問 3 看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	魅力を感じる	34	72.34
2	魅力を感じない	13	27.66
	未回答・不明	0	0.00
	合計	47	100.00

<清泉女学院大学大学院に関する質問事項>

4. 看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望

清泉女学院大学の看護学部の在学生に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合の受験希望について質問したところ、回答者数 47 人の約 2.13%にあたる 1 人が「受験を希望する」と回答しており、回答者数 47 人の約 10.64%にあたる 5 人が「将来受験を考える（1～2年後）」、回答者数 47 人の約 31.91%にあたる 15 人が「将来受験を考える（3～4年後）」と回答していることから、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への積極的な受験意向がうかがえる。

問 4 看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	1	2.13
2	将来受験を考える（1～2年後）	5	10.64
3	将来受験を考える（3～4年後）	15	31.91
4	受験を希望しない	26	55.32
	未回答・不明	0	0.00
	合計	47	100.00

＜清泉女学院大学大学院に関する質問事項＞

5. 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

清泉女学院大学の看護学部の在学生に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 47 人の約 23.40%にあたる 11 人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数 47 人の約 21.28%にあたる 10 人が「併願先の結果によって進学を希望する」と回答していることから、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への積極的な進学意向がうかがえる。

問 5 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	11	23.40
2	併願先の結果によって進学を希望する	10	21.28
3	進学を希望しない	10	21.28
	未回答・不明	16	34.04
	合計	47	100.00

なお、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合、「受験を希望する」と回答した在学生で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した在学生は 1 人、「将来受験を考える（1～2年後）」と回答した在学生で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した在学生は 2 人、「将来受験を考える（3～4年後）」と回答した在学生で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した在学生は 7 人となっている。

問 4 × 問 5 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	受験を希望する × 進学を希望する	1
2*1	将来受験を考える（1～2年後） × 進学を希望する	2
3*1	将来受験を考える（3～4年後） × 進学を希望する	7

II. 進学需要調査（集計結果）

【有職者】

II. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

清泉女学院大学では、令和3年4月の開設に向けて清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を計画しており、この清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師

②調査方法

医療機関等への直接配布、直接回収

医療機関等への郵送による配布、回収

③調査実施

令和元年12月

④調査件数

回答者数：206人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<調査対象者に関する質問事項>

1. 勤務先

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師に対して、勤務先について質問したところ、回答者数 206 人の約 88.83%にあたる 183 人が「看護師として医療現場等に勤務」と回答している。

問 1 勤務先

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	看護師として医療現場等に勤務	183	88.83
2	その他	23	11.17
	未回答・不明	0	0.00
	合計	206	100.00

<調査対象者に関する質問事項>

2. 修士の学位の取得

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師に対して、修士の学位の取得について質問したところ、回答者数 206 人の約 10.19%にあたる 21 人が「修士の学位の取得を考えている」と回答しており、回答者数 206 人の約 15.53%にあたる 32 人が「将来修士の学位の取得を考えている」と回答していることから、修士の学位の取得に対する積極的な意向がうかがえる。

問2 修士の学位の取得

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	修士の学位の取得を考えている	21	10.19
2	将来修士の学位の取得を考えている	32	15.53
3	修士の学位の取得は考えていない	152	73.79
	未回答・不明	1	0.49
	合計	206	100.00

＜清泉女学院大学大学院に関する質問事項＞

3. 看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材について質問したところ、回答者数 206 人の約 66.99%にあたる 138 人が「魅力を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材に対する魅力の高さをうかがうことができる。

問3 看護学研究科看護学専攻修士課程において養成する人材

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	魅力を感じる	138	66.99
2	魅力を感じない	66	32.04
	未回答・不明	2	0.97
	合計	206	100.00

＜清泉女学院大学大学院に関する質問事項＞

4. 看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合の受験希望について質問したところ、回答者数 206 人の約 3.88%にあたる 8 人が「2020 年度に受験を希望する」と回答しており、回答者数 206 人の約 4.85%にあたる 10 人が「2021 年度に受験を考える」、回答者数 206 人の約 16.02%にあたる 33 人が「2022 年度以降に受験を考える」と回答していることから、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への積極的な受験意向がうかがえる。

問 4 看護学研究科看護学専攻修士課程の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	2020 年度に受験を希望する	8	3.88
2	2021 年度に受験を考える	10	4.85
3	2022 年度以降に受験を考える	33	16.02
4	受験を希望しない	155	75.24
	未回答・不明	0	0.00
	合計	206	100.00

<清泉女学院大学大学院に関する質問事項>

5. 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

長野県に所在している医療機関等に勤務している看護師に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 206 人の約 18.45%にあたる 38 人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数 206 人の約 11.17%にあたる 23 人が「併願先の結果によって進学を希望する」と回答していることから、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程への積極的な進学意向がうかがえる。

問 5 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	38	18.45
2	併願先の結果によって進学を希望する	23	11.17
3	進学を希望しない	57	27.67
	未回答・不明	88	42.72
	合計	206	100.00

なお、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程が設置された場合、「2020 年度に受験を希望する」と回答した看護師で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した看護師は 8 人、「2021 年度に受験を考える」と回答した看護師で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した看護師は 9 人、「2022 年度以降に受験を考える」と回答した看護師で、看護学研究科看護学専攻修士課程に合格した場合「進学を希望する」と回答した看護師は 15 人となっている。

問 4 × 問 5 看護学研究科看護学専攻修士課程への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	2020 年度に受験を希望する × 進学を希望する	8
2*1	2021 年度に受験を考える × 進学を希望する	9
3*1	2022 年度以降に受験を考える × 進学を希望する	15

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

清泉女学院大学では、令和3年4月の開設に向けて清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を計画しており、この清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、長野県に所在している医療機関等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

長野県に所在している医療関連機関等

②調査方法

医療関連機関等への直接配布、直接回収

医療関連機関等への郵送による配布、回収

③調査実施

令和元年12月

④調査件数

回答件数：11件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 職種

長野県に所在している医療関連機関等に対して、職種について質問したところ、回答件数11件の約100.00%にあたる11件が「医療関連機関」と回答している。

問1 職種

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	医療関連機関	11	100.00
2	福祉関連施設	0	0.00
3	教育関連機関	0	0.00
4	その他	0	0.00
	未回答・不明	0	0.00
	合計	11	100.00

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 大学院教育の必要性

長野県に所在している医療機関等に対して、将来、指導的立場で活躍できる看護職者の養成を目的とする大学院教育の必要性について質問したところ、回答件数 11 件の約 100.00% にあたる 11 件が「必要性を感じる」と回答していることから、将来、指導的立場で活躍できる看護職者の養成を目的とする大学院教育の必要性の高さがうかがえる。

問 2 大学院教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	11	100.00
2	必要性を感じない	0	0.00
	未回答・不明	0	0.00
	合計	11	100.00

＜清泉女学院大学大学院に関する質問事項＞

3. 看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の必要性

長野県に所在している医療機関等に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の必要性について質問したところ、回答件数 11 件の約 90.91%にあたる 10 件が「必要性を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の必要性の高さがうかがえる。

問 3 看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	10	90.91
2	必要性を感じない	1	9.09
	未回答・不明	0	0.00
	合計	11	100.00

＜清泉女学院大学大学院に関する質問事項＞

4. 看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材の必要性

長野県に所在している医療機関等に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 11 件の約 90.91% にあたる 10 件が「必要性を感じる」と回答しており、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材の必要性の高さがうかがえる。

問 4 看護学研究科看護学専攻修士課程で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	10	90.91
2	必要性を感じない	1	9.09
	未回答・不明	0	0.00
	合計	11	100.00

<清泉女学院大学大学院に関する質問事項>

5. 看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生の採用

長野県に所在している医療機関等に対して、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生の採用について質問したところ、回答件数 11 件の約 54.55%にあたる 6 件が「採用したい」と回答しており、回答件数 11 件の約 45.45%にあたる 5 件が「採用を検討したい」と回答していることから、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生への採用意向の高さがうかがえる。

問 5 看護学研究科看護学専攻修士課程で学んだ修了生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	採用したい	6	54.55
2	採用を検討したい	5	45.45
3	採用は考えない	0	0.00
4	その他	0	0.00
	未回答・不明	0	0.00
	合計	11	100.00

IV. 參考資料

進学需要調査関係

清泉女学院大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)設置計画の概要

□計画概要 ※設置組織、学生定員、開設時期、設置場所等については予定

- * 設置組織：看護学研究科 看護学専攻 修士課程（2年制）
- * 学生定員：入学定員8名／収容定員16名
- * 開設時期：令和3年4月
- * 設置場所：長野県長野市栗田1038-7
- * アクセス：JR長野駅東口より徒歩約1分



清泉女学院大学 長野駅東口キャンパス

□教育研究上の目的

- * 看護学研究科看護学専攻修士課程では、看護学分野に関する深い学識の涵養を図り、幅広い医療関連分野において指導的立場で活躍できる人材の養成を目指して、看護学分野に関する高度な専門的知識や能力及び実際にそれらを応用する能力を培うとともに、問題や課題の解決にむけた柔軟な思考力や深い洞察力を養うための体系的かつ組織的な教育活動を行うこととしています。

□養成する人材

- * 看護学研究科看護学専攻修士課程では、学部段階等における看護教育に裏打ちされた専門的素養の上に立ち、看護の専門性の一層の向上を図るための深い知的学識と研究能力を備えて、将来、指導的立場で活躍できる看護職者として、看護の質の向上や改善に貢献できる人材を養成します。
具体的には、看護学分野に関する幅広く深い学識を基礎として、それらを実務に応用する能力及び看護学研究に関する手法や能力を身に付けて、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者を養成します。

□修得する資質・能力

- * 看護学研究科看護学専攻修士課程では、体系的な教育課程の履修を通じて、以下に掲げる資質・能力を身に付けます。
 - ・看護活動の基盤となる関連領域に関する幅広い知識を身に付けます。
 - ・質の高い看護活動を実践するための豊かな知的学識を身に付けます。
 - ・自ら課題を設定し調査・研究活動を実践できる能力を身に付けます。
- * 修了後は、医療機関等において各看護領域における質の高い看護ケアの提供に携わる看護実践者として活躍することが想定されるとともに、医療機関等における人材育成のための継続教育や生涯教育の推進、看護職を目指す実習生に対する臨地実習指導などに携わることが想定されます。

□学費 ※近隣の私立大学院の学費との比較

- * 清泉女学院大学大学院
看護学研究科 看護学専攻 修士課程 110万円（入学金20万円 授業料等90万円）
- * 佐久大学大学院
看護学研究科 看護学専攻 修士課程 113万円（入学金23万円 授業料等90万円）
- * 高崎健康福祉大学大学院
保健医療学研究科 看護学専攻 修士課程 100万円（入学金10万円 授業料等90万円）

清泉女学院大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程（仮称）の
進学需要に関するアンケート調査（在学生用）

清泉女学院大学では、看護学分野に関する幅広く深い学識を基礎として、それらを実務に応用する能力及び看護学研究に関する手法や能力を身に付けて、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者の養成を目的として、看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を検討しております。

このアンケート調査は、看護学部在籍している皆さんのご意見をお聞きし、看護学研究科（仮称）の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答は、別紙の「清泉女学院大学大学院 看護学研究科（仮称）設置計画の概要」をご覧ください。設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたは、卒業後の進路についてどのようにお考えになりますか。

次の中から、該当する番号を選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 医療機関等への就職を希望

3 その他

2 大学院等への進学を希望

（具体的に、）

問2 あなたは、ご自身の学位の取得についてどのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 修士の学位の取得を考えている

2 将来修士の学位の取得を考えている

3 修士の学位の取得は考えていない

問3 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）において養成する人材について魅力を感じますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 魅力を感じる

2 魅力を感じない

問4 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）が設置された場合、受験を希望しますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 受験を希望する

3 将来受験を考える（3～4年後）

2 将来受験を考える（1～2年後）

4 受験を希望しない

<問5は、問4で「1」・「2」・「3」と回答された方のみ、お答えください>

問5 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 進学を希望する

3 進学を希望しない

2 併願先の結果によって進学を希望する

看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

清泉女学院大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程（仮称）の
進学需要に関するアンケート調査（医療機関等にお勤めの皆様）

清泉女学院大学では、看護学分野に関する幅広く深い学識を基礎として、それらを実務に応用する能力及び看護学研究に関する手法や能力を身に付けて、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者の養成を目的として、看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を検討しております。

このアンケート調査は、医療機関等にお勤めの皆様のご意見をお聞きし、看護学研究科（仮称）の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答は、別紙の「清泉女学院大学大学院 看護学研究科（仮称）設置計画の概要」をご覧ください。設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたの現在の勤務先について、お伺いします。

次の中から、該当する勤務先を選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 看護師として医療現場等に勤務
2 その他（具体的に、

問2 あなたは、ご自身の学位の取得についてどのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 修士の学位の取得を考えている 2 将来修士の学位の取得を考えている
3 修士の学位の取得は考えていない

問3 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）において養成する人材について魅力を感じますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 魅力を感じる
2 魅力を感じない

問4 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）が設置された場合、受験を希望しますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 2020年度に受験を希望する 3 2022年度以降に受験を考える
2 2021年度に受験を考える 4 受験を希望しない

<問5は、問4で「1」・「2」・「3」と回答された方のみ、お答えください>

問5 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 進学を希望する 3 進学を希望しない
2 併願先の結果によって進学を希望する

看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

進学需要調査 アンケート依頼先一覧（医療機関等／16件）

No	機 関 等 名	所 在 地
1	長野赤十字病院	長野県長野市若里五丁目 22-1
2	信州大学医学部附属病院	長野県松本市旭 3-1-1
3	医療法人裕生会 丸山産婦人科医院	長野県長野市鶴賀南千歳町 982
4	板倉レディースクリニック	長野県長野市稲里町中央 1-12-12
5	中澤ウィメンズライフクリニック	長野県長野市若里 6-3-6
6	助産所ほやほや	長野県長野市北堀 847-11
7	長野県立こども病院	長野県安曇野市豊科 3100
8	長野医療生活協同組合 長野中央病院	長野県長野市西鶴賀町 1570
9	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院	長野県中野市西 1-5-63
10	長野県厚生農業協同組合連合会 長野松代総合病院	長野県長野市松代町松代 183
11	長野県厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター篠ノ井総合病院	長野県長野市篠ノ井会 666-1
12	飯山赤十字病院	長野県飯山市大字飯山 226-1
13	長野市民病院	長野県長野市大字富竹 1333-1
14	長野県立信州医療センター	長野県須坂市大字須坂 1332
15	上田市立産婦人科病院	長野県上田市緑ヶ丘 1-27-32
16	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	長野県松本市本庄 2-5-1

人材需要調査関係

清泉女学院大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程（仮称）の
人材需要に関するアンケート調査

清泉女学院大学では、学部教育等で修得した看護学及び看護実践に関する専門的な知識や能力を一層深化させるとともに、自ら研究課題を設定し研究活動を展開する能力を修得することにより、研究能力を備えた看護職者として、看護実践や看護教育の質の向上に貢献できる中核的な役割を果たす人材の養成を目的として、看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を検討しております。

このアンケート調査は、医療・福祉機関等にお勤めの皆様のご意見をお聞きし、看護学研究科（仮称）の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答は、別紙の「清泉女学院大学大学院 看護学研究科（仮称）設置計画の概要」をご覧いただいたうえで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 貴機関の職種について、お伺いします。

次の中から、該当する職種を選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 医療関連機関 | 3 教育関連機関 |
| 2 福祉関連施設 | 4 その他（具体的に) |

問2 あなたは、将来、指導的立場で活躍できる看護職者の養成を目的とする大学院の教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない

問3 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない

問4 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない

問5 あなたは、清泉女学院大学大学院の看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）で学んだ修了生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 採用したい | 3 採用は考えない |
| 2 採用を検討したい | 4 その他（具体的に) |

看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

人材需要調査 アンケート依頼先一覧（医療機関等／16件）

No	機 関 等 名	所 在 地
1	長野赤十字病院	長野県長野市若里五丁目 22-1
2	信州大学医学部附属病院	長野県松本市旭 3-1-1
3	医療法人裕生会 丸山産婦人科医院	長野県長野市鶴賀南千歳町 982
4	板倉レディースクリニック	長野県長野市稲里町中央 1-12-12
5	中澤ウィメンズライフクリニック	長野県長野市若里 6-3-6
6	助産所ほやほや	長野県長野市北堀 847-11
7	長野県立こども病院	長野県安曇野市豊科 3100
8	長野医療生活協同組合 長野中央病院	長野県長野市西鶴賀町 1570
9	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院	長野県中野市西 1-5-63
10	長野県厚生農業協同組合連合会 長野松代総合病院	長野県長野市松代町松代 183
11	長野県厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター篠ノ井総合病院	長野県長野市篠ノ井会 666-1
12	飯山赤十字病院	長野県飯山市大字飯山 226-1
13	長野市民病院	長野県長野市大字富竹 1333-1
14	長野県立信州医療センター	長野県須坂市大字須坂 1332
15	上田市立産婦人科病院	長野県上田市緑ヶ丘 1-27-32
16	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	長野県松本市本庄 2-5-1

**大学における看護系人材養成の在り方に関する検討
会最終報告（抜粋）**

平成23年3月11日

大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会

目 次

はじめに	1
1. 大学における看護学教育の現状認識	2
(1) 学士課程における看護系人材養成の現状	2
(2) 大学院における看護系人材養成の現状	4
(3) 保健師助産師看護師法及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正	6
2. 今後の大学における看護系人材養成の在り方	7
(1) 学士課程における看護系人材養成の基本方針	7
(2) 大学院における看護系人材養成の基本方針	9
(3) 保健師及び助産師教育の充実方策について	9
3. 大学における看護学教育の質保証について	11
1) 学士課程教育においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標の策定	11
(1) 看護実践能力の定義と卒業時到達目標	13
(2) 看護実践能力の育成について	14
2) 学位課程における教育の質保証について	15
3) 修士課程等において保健師・助産師養成を行う場合の質保証について	16
4. 今後の検討課題	17
1) 教育の充実に向けた課題	17
2) 看護学教育の質保証の推進	19
添付資料1 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標	21
添付資料2 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標－教育内容と学習成果－	29
参考資料	43

(2) 大学院における看護系人材養成の基本方針

<大学院教育の方向性>

中央教育審議会答申「新時代の大学院教育」（平成17年9月）では、今後の大学院教育の基本的な考え方を、①大学院教育の実質化、②国際的な通用性、信頼性の向上を通じ、世界規模での競争力の強化を図ることを重要な視点として、教育研究機能の強化を推進していくこととしている。そして、教育の在り方としては、学部段階における教養教育と、これに十分裏打ちされた専門的素養の上に立ち、専門性の一層の向上を図るための、深い知的学識を涵養する教育を行うことを基本としている。

<大学院における看護系人材養成の目指すもの>

こうした大学院教育の基本的考え方を前提に、看護系大学院における人材養成においては、看護学の学術研究を通じて社会に貢献できる研究者や教育者の養成、学士課程では養成困難な、特定領域の高度専門職業人や、保健、医療、福祉等に携わる専門職の協働においてマネジメント能力を発揮できる人材の養成を目指す。

さらに、今後の看護ニーズの一層の拡大に対応するため、それぞれの大学院は教員の業務量に十分配慮しながら、社会人等の受入れ体制を整備しておくことが望ましい。

修士課程の課程数が充実してきたことや学生の多様化が進んでいること等を踏まえ、各大学院においては、社会のニーズや自大学院の教育資源に基づき、養成する人材像を一層明確化することを通じて、主体的に機能分化を図っていくことが望ましい。

(3) 保健師及び助産師教育の充実方策について

<保健師教育の充実>

これまで、保健師教育は学士課程で学ぶすべての学生が履修してきた。

しかしながら今日、健康危機管理や児童虐待の予防、自殺対策など複雑な健康課題が顕在化するなかで、こうした課題の予防・解決に一定の役割を果たしてきた家族機能や地域

元企第 805 号
令和 2 年 1 月 23 日

学校法人 清泉女学院
理事長 深澤 光代 様
清泉女学院大学・短期大学
学長 山内 宏太朗 様

長野市長 加藤 久雄
(企画政策部企画課担当)



清泉女学院大学 大学院看護学研究科及び助産学専攻科の設置並びに
人間学部心理コミュニケーション学科の定員変更について (回答)

平素市政につきましては、格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 2 年 1 月 9 日付けでご案内いただきました、清泉女学院大学における大学院看護学研究科及び助産学専攻科の設置並びに人間学部心理コミュニケーション学科の定員変更につきましては、貴学看護学部設置に際して、将来的な大学院の設置を想定した校舎整備等を対象に補助金を交付し支援を行ったことと併せて、改めて下記
の理由により、本市として賛同を表明いたします。

記

- 1 医療・看護分野等における専門性の高い人材の輩出が期待されることから、第五次長野市総合計画に掲げる『安心して暮らせる健康づくりの推進』につながる事。
- 2 特色ある高等教育機関の整備が期待されることから、同計画に掲げる『未来を切り拓く人材の育成と環境の整備』の推進につながる事。
- 3 地元での進学先の選択肢が増えるとともに地元での就職に寄与することが期待されることから、同計画に掲げる『「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～』の推進につながる事。

企画政策部企画課

(課長) 日台 和子 (担当) 平井 正宏

電話: 直通 026-224-5010 FAX: 026-224-5103

E-mail: kikaku@city.nagano.lg.jp

令和 2 年 1 月 20 日

清泉女学院大学

学長 山内 宏太朗 様

公益社団法人長野県看護協会
会長 松本 あつ子

平素は、長野県看護協会の日頃の運営におきまして、ご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴学から大学院看護学研究科及び助産学専攻科の設置を計画のご報告がありました。このご報告を受け、本協会としては、計画に沿って早期に実現されることを期待いたします。

本協会では、保健・医療・福祉の現状や課題を踏まえ、「長野県看護協会将来ビジョン」を公表し、「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」、「人々の生涯にわたり、生活と保健・医療・福祉をつなぐ看護」を目指して取り組んでおり、看護の現場で生じる諸課題を科学的に探究し、その成果を看護実践の充実に活かすことのできる中核的な役割を果たす看護職者を養成することは、地域の医療・保健・福祉政策への貢献が期待されますことから、看護学研究科看護学専攻修士課程の早期新設を要望します。

また、本協会では、長野県の周産期医療を維持するために助産師の役割拡大を進めるとともに、県や市町村等行政と協働し、居住地域を中心として健やかで安全・安心な妊娠・出産や育児が出来る環境整備を推進することとしており、長野県北部に位置する清泉女学院大学において、質の高い助産師を養成し、安定的に輩出することに大きく期待を寄せ、助産学専攻科の早期新設を要望します。